

- 問1 日本のエネルギー供給の特徴とその課題について述べた文として、2017年時点の発電構成の状況を踏まえたものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 茨城県公立入試 類似)
- 火力発電が全発電量の約7割以上を占めているが、その燃料となる化石燃料の多くを海外からの輸入に依存している。
 - 広大な国土を活かした風力発電が全発電量の半数を超えており、余った電力を近隣諸国へ輸出している。
 - フランスと同様に原子力発電を主な電源としており、全発電量の約7割を賄うことで高いエネルギー自給率を維持している。
 - 環太平洋造山帯に位置する利点を活かして地熱発電を主力としており、再生可能エネルギーのみで電力を自給している。
- 問2 フランス南部の都市トゥールーズは、世界的な航空機産業の拠点として知られています。この地域で航空機産業が発展した背景や、ヨーロッパにおける産業の仕組みについて述べた文として正しいものを選択してください。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
- 冷戦終結後、旧ソ連から高度な軍事技術が流入したことで、南フランスの農村地帯が急速に工業地帯へと変化し、航空機生産が始まった。
 - ヨーロッパ共同体（EC）から欧州連合（EU）へと統合が進む中で、経済的な結びつきを強めるために各国が部品製造を分担する体制が整えられた。
 - フランスは古くから鉄鉱石と石炭が豊富に取れるため、内陸部にあるトゥールーズ周辺に原料を運んで航空機の機体を製造するようになった。
 - アフリカ諸国との貿易を円滑にするため、地中海に面した港湾都市に最終組み立て工場を設置し、そこから世界中へ航空機を輸出している。
- 問3 世界各地の主要な山脈の分布を示した資料において、ヨーロッパ州の地中海北沿いに位置し、新期造山帯に含まれる山脈の名称として正しいものを選択してください。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
- アンデス山脈
 - ヒマラヤ山脈
 - ロッキー山脈
 - アルプス山脈
- 問4 世界の主要国のエネルギー供給の割合を示した統計資料において、石油や石炭などの化石燃料の占める割合が低く、一方で原子力の割合が供給全体の約4割近くに達するなど、他の国々に比べて際立って高い割合を占めている国はどこですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)
- ノルウェー
 - オーストラリア
 - フランス
 - サウジアラビア
- 問5 ヨーロッパの諸国を調査した資料において、ある国では挨拶に「Guten Morgen」という言葉が使われ、かつEU加盟国の中で統計上の工業生産額が最も高いことが示されています。この国が属する言語系統と、その国の産業の特徴について述べた文として適切なものはどれですか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
- ラテン系言語のグループに属し、地中海式の農業と工業をバランスよく発展させている。
 - ゲルマン系言語のグループに属し、高度な技術力を背景にEUの工業を牽引している。
 - ゲルマン系言語のグループに属し、広大な土地を利用した小麦などの農業生産が中心となっている。
 - スラブ系言語のグループに属し、EU域外との貿易を主軸とした工業を展開している。
- 問6 ヨーロッパ大陸の南部に位置し、イタリア半島の北側の付け根付近を東西に貫く、標高が高く険しい褶曲山脈の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)
- ピレネー山脈
 - ヒマラヤ山脈
 - アルプス山脈
 - アパラチア山脈
- 問7 1602年に東インド会社を設立して海上貿易を主導し、国際河川の河口という地理的利点を活かして発展した国について、その土地利用や歴史的背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
- 1776年に独立を宣言して建国されたのち、広大な原野を切り拓いて大規模な機械化農業を確立した。
 - タイガと呼ばれる広大な針葉樹林帯が分布しており、それらを活用したパルプ工業が盛んである。
 - 1961年に周辺諸国から独立し、豊富な地下資源の輸出と中継貿易によって急速な経済成長を遂げた。
 - ポルターと呼ばれる干拓地を造成して国土を広げ、限られた土地で高い農業生産性を実現している。
- 問8 2010年から2017年にかけての「電気自動車の保有台数」の変化について、ノルウェー、アメリカ、中国、日本の4か国の統計から読み取れる傾向として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
- 中国は電気自動車の保有台数が世界で最も多いが、人口一人あたりで見ても世界最高の水準である。
 - アメリカは人口一人あたりの電気自動車保有台数が、2010年から2017年の間でノルウェーを追い抜いた。
 - 日本は自動車の総保有台数が多いため、人口一人あたりの電気自動車の割合もアメリカを上回っている。
 - ノルウェーは人口や自動車総数は少ないが、人口一人あたりの電気自動車普及率は突出して高い。
- 問9 ヨーロッパでは経済的な統合が進んでおり、工業製品の生産においても国境を越えた協力体制が敷かれています。特に、ドイツ、イギリス、フランス、スペインなどの企業が共同で部品を製造し、最終的な組み立てを行う「国際分業」が確立されている代表的な工業分野を選びなさい。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
- 繊維工業
 - 航空機産業
 - 鉄鋼業
 - 船舶産業
- 問10 ヨーロッパの地形について述べた次の文のうち、フィヨルドの特徴や分布を正しく説明しているものはどれですか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
- ライン川の下流に位置するオランダで見られ、海を干拓して造られたポルダーと呼ばれる広大な平地を指す。
 - アルプス山脈のふもとに位置し、石灰岩が溶食されてできたドリーネやウバーレといった窪地が連続している。
 - イタリア半島の南部に多く見られ、温暖な気候を利用したオリーブの栽培が海岸沿いで盛んに行われている。
 - スカンジナビア半島の西側に発達しており、海岸線から数十km以上も奥まで海水が入り込んでいる場所がある。
- 問11 2000年から2012年にかけて、ポーランド、ルーマニア、ブルガリア、ハンガリーの4か国からドイツへの人口流入数が増加しました。この統計と、ドイツの1人あたりの国内総生産がこれら4か国を大きく上回っているという事実から推察される、現代ヨーロッパの状況として適切なものはどれですか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
- EUの共通政策により、すべての加盟国の1人あたりの国内総生産が4万ドル以上に統一された。
 - 経済発展の遅れた西欧諸国の労働者が、経済成長の著しい東欧諸国へと移住している。
 - EU加盟国間の経済格差を背景に、所得の高い国へ労働力が集中する傾向がある。
 - 東欧諸国からの人口流出が止まらないため、ドイツは2012年以降EUからの脱退を表明した。
- 問12 EU（欧州連合）に加盟している西ヨーロッパ諸国の企業の多くが、東ヨーロッパ諸国へと生産拠点を移しています。各国の最低賃金を比較した資料において、東ヨーロッパ諸国の賃金水準が西ヨーロッパ諸国よりも著しく低いことを踏まえたとき、企業がこのような動きを見せる主な目的として、最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
- 最低賃金の低さを利用して、人件費などの製造コストを削減するため
 - 東ヨーロッパ諸国との間の貿易額を増やし、域内市場を独占するため
 - 東ヨーロッパ諸国の豊富な地下資源を、現地で効率よく加工するため
 - 製品の配送距離を短くし、輸送コストを大幅に削減するため